

論文賞・実用化技術賞 候補推薦・公募のお知らせ

本会では、ロボット学および本会が関与する科学技術や産業の分野における研究を奨励しその発展を図ることを目的として、これらの分野での顕著な学術的業績、優秀な実用技術を選び、論文賞、実用化技術賞による表彰を実施しております。表彰数は「論文賞」4件まで、「実用化技術賞」3件までを予定し、2012年9月に行われる学術講演会で表彰いたします。論文賞受賞者全員に賞状と賞牌を、また実用化技術賞受賞者には全員に賞状と代表者に賞牌を贈呈し、学会誌に公表いたします。

ここに、第26回論文賞選定、および第17回実用化技術賞選定を行うための推薦および応募を求めます。論文賞、実用化技術賞とも、会員の皆様からの推薦および応募にもとづき本会選考委員会で審議決定します。よって、下記の推薦条件および募集要領を参照の上、多数の方々の推薦および応募を期待します。

第26回論文賞推薦条件

論文賞は、本学会分野の発展への貢献を奨励することを目的とし、本学会の機関誌に発表された論文のうち、特に優秀なものを選び表彰することを目的としています。審査に当たっては、論文内容の独創性、学術・技術上の寄与と波及効果、努力度を考慮し、特に独創性を重視します。またこの他、表現の完成度や研究の発展性も考慮するものとします。

推薦条件：

1. 推薦範囲および推薦できる論文の数：

次の論文の中から、正会員1名につき1編とする。

2010年1月から2011年12月までの2年間に、本学会誌に掲載された総合論文、学術技術論文、解説論文、研究速報、討論、および本会欧文誌に掲載された Full paper, Survey paper, Short paper とする。

2. 推薦資格：本会正会員に限る。

3. 推薦方法：下記の様式に従うこと。

4. 締切日：2012年1月20日（金）

論文賞候補推薦用紙

論文名・著者名			
掲載誌 ※1	1. 会誌, Vol. No. pp. - (年 月)	2. 欧文誌	
論文の性格 ※1, ※2	1. 学 術 性	2. 有 用 性	3. 提 案 性
推薦理由			
関連分野・ キーワード			
推薦者 (正会員)	氏 名	印	
	所属機関 (部, 課, 役職)		
	所在地 〒		
	電話：	FAX：	
	E-mail：		

注 ※1：該当する番号を○で囲んでください。

※2：会誌については、論文先頭ページ脚注より転記してください。

第 17 回実用化技術賞募集要領

一般社団法人日本ロボット学会ではロボット技術の社会への貢献が一層進むことを願って、ロボットに関する優秀な実用化技術の表彰を以下の要領で実施いたします。応募技術の中で惜しくも受賞に至らなかった技術に対し、次年度継続審査の制度が設けられております。詳しくは規程を参照ください。また、過去に応募いただいた技術で受賞に至らなかった技術も再応募可能です。会員各位、特に賛助会員各位の積極的な応募を歓迎します。

1. 対象となる業績：

数年以内に完成したロボット学の成果を含む技術であり、応募者が主体となって開発した自主技術。理論や実験にとどまらず、実用的応用や製品化に結びついている技術を対象とする。(注参照)

- 注) 1. 技術の対象分野は、①製造業分野 ②非製造業分野(農林漁業、医療福祉、教育、サービス産業など)、③実用化開発分野(宇宙、海洋、原子力、災害対処など)とする。
2. 技術の対象にはハードウェアやソフトウェアの要素技術的なものばかりでなく、システム化技術まで広く含まれる。
3. 実用化の範疇には、製品化(販売)されたものはもちろん、販売はされていないものの、複数の人に用いられて評価を受けているもの、自社の生産ライン用に開発し実際に稼働し経済効果をあげているもの等も含まれる。

本賞の選考の対象となる技術は、当該年に行う本学会誌の公募に応じて応募のあったものおよび前年の選考委員会で次年再審査対象となり、再応募があったものです(事務局より再審査の連絡を行います)。したがって当該年に選考されなかった技術に関して次年度に選考される可能性があります。

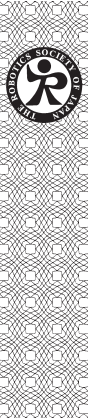
2. 受賞対象者：技術の完成に貢献した個人あるいは複数人
(10名以内、ただし1団体は5名以内、なお団体とは法人または法人に準じる単位とする。)
3. 応募資格：会員・非会員を問わず応募可。
4. 応募方法：次頁様式に従うこと、自薦・他薦いずれも可とする。
5. 締 切 日：2012年1月20日(金)
6. 応募に際しての注意事項：
1. 提出書類は一切返却いたしません。
 2. 審査は書類審査、ヒアリング審査で行い、必要に応じて現地調査を行います。書類審査にパスした候補者には選考委員会が指定する会場(東京)にてヒアリング審査を行います。その際の交通費等は応募者負担になります。
 3. 最終決定結果は、応募代表者全員に文書によりお知らせいたします。ただし、[採]否の理由に関する問い合わせには応じかねます。
 4. 添付書類の変更がありますのでご注意ください。
 5. 選考規程について詳しくは、学会 HP
< <http://www.rsj.or.jp> >にて公開の「表彰委員会規程」および「実用化技術賞選考規程」をご参照ください。

論文賞候補推薦書、実用化技術賞申請書の応募先

〒113-0033 東京都文京区本郷2-19-7 ブルービルディング2F

一般社団法人日本ロボット学会 論文賞係、あるいは実用化技術賞係 宛

TEL：03(3812)7594 FAX：03(3812)4628



一般社団法人日本ロボット学会実用化技術賞申請書

番号 (記入不要)

(年 月 日 提出)

対象技術分野		1. 製造業分野, 2. 非製造業分野, 3. 実用化開発分野			…○で囲んで下さい。
技術名称					
代表者を筆頭に記入	会員資格	会員番号	氏名 (ふりがな付き)	年齢	機関・所属・職名 (詳細に記入のこと)
連絡担当者氏名:		TEL:		FAX:	
所属・部課名:		E-mail:			
住所:〒					
技術の概要	(600字程度)				
空白でも可	会員資格	氏名	所属・職名	連絡先 (TEL/FAX)	

添付書類: 申請書の他に次の書類 (任意形式) を添付して下さい。

- 技術説明書: 技術の内容の説明の際、技術の獨創性・新規性(当該技術によりロボット応用が拡大する効果)、品質または性能の優秀さ・進歩性(類似技術との比較)、波及効果(次のロボット技術・他技術・知的基盤への貢献、開拓される産業・市場の発展性)を明記し、技術のセールスポイントとなる点(本賞の選考において、特に応募者が評価してほしいポイント)が明確になるよう詳細かつ具体的に記述して下さい。
- 実用化の状況: 現場への適用度、製品の経済効果・市場の評価、社会への実際的な貢献について、販売実績、稼働実績、産業界・社会へのインパクトの観点から明確に記述して下さい。
- 技術開発環境の説明: 技術提携、技術協力などの有無、開発資金の援助の有無、それぞれある場合はその相手、内容も記述して下さい。
- 役割分担: 各候補者の応募技術実現における役割分担を説明して下さい。
- 特許・実用新案出願・取得状況: リストを作成して下さい。リストには、名称、番号(出願番号、公開番号、登録番号)、日付、出願国を記し、出願、公開、取得の区別を明確にして下さい。さらに取得および公開されたものに関しては、コピーを添付し、どの特許のどの請求項が重要であるかを説明して下さい。
- 技術に関する公開された文献: 論文、技術報告、技術資料などで技術内容および各候補者の貢献度がわかるもの。特に、応募技術が日本ロボット学会誌や学術講演会等で発表されている場合は、その論文や予稿集原稿の別刷りを提出して下さい(発表年、巻号等を明記)。文献の有無で選考委員の技術への理解度が大きく変わることがありますので可能な限り提出して下さい。
- 開発技術の内容、実用化状況を示すビデオ: ビデオの有無で選考委員の技術への理解度が大きく変わることがありますので可能な限り提出して下さい。

提出部数: (1)~(6)を正1部(A4用紙)、(1)~(7)をCD-ROMに収めたものを副として1部(ただし、(7)の動画ファイルを含め30MB以内とする)

提出先: 一般社団法人 日本ロボット学会 実用化技術賞係 宛 (〒113-0033 東京都文京区本郷2-19-7 ブルービルディング2階)
TEL 03-3812-7594 FAX 03-3812-4628

提出期限: 2012年1月20日(金曜日) 17:00必着 注意事項: 応募書類は一切返却いたしません。

第5回功労賞 推薦募集

功労賞（英文名：Distinguished Service Award）は、本会の運営ならびに諸活動への貢献を奨励することを目的とし、そのような具体的貢献のうち、特に顕著なものを成した個人に贈呈し、その功労に報いるもので、2008年度より表彰を行ってきております。

当学会の運営・諸活動は、ボランティアの献身的努力に強く依存しております。それゆえ、顕著な貢献を顕彰し功労に報いることと、それを通して学会の運営・活動への貢献を奨励し活性化することは、当学会の存続・発展のために極めて重要であります。この趣旨をお汲み頂き、本件にご協力下さいますようお願い申し上げます。

つきましては、下記をご参照の上、所定の推薦用紙にて、本年度の功労賞候補者を御推薦下さい。

記

推薦方法：他薦に限る

被推薦（受賞）資格者：原則として、被推薦年度および表彰年度において本会の正会員または学生会員または職員であって、表彰年度において本会役員でないこと

推薦資格者：日本ロボット学会正会員

推薦締切：2012年1月20日（金）

推薦提出方法：所定の推薦用紙に記入・捺印の上、下記宛郵送のこと

〒113-0033 東京都文京区本郷2-19-7

ブルービルディング2階

一般社団法人日本ロボット学会 事務局 功労賞係



日本ロボット学会功労賞推薦用紙

提出日	年 月 日		
推薦者	氏名		印
	所属・肩書		
	連絡先	住所： E-mail： Tel.	Fax.
候補者	氏名		
	所属・肩書		
	連絡先	住所： E-mail： Tel.	Fax.
貢献の内容および効果 (できる限り具体的に記述 ください)			
貢献の顕著さ (客観評価)			
候補者の努力の程度 (具体的にお願いします)			

第4回ロボット活用社会貢献賞 推薦募集

ロボットは、将来、人類のあらゆる活動において不可欠な存在となることが期待され、ロボット学・ロボット産業もそれを担う存在に成長することが望まれています。ロボット活用社会貢献賞は、この「ロボット活用社会」の実現に向けて、ロボットを様々な形で社会に普及・浸透させ、社会の変革に大きく貢献した、あるいは貢献しうる活動や知見を顕彰し、もって上記将来像への接近を促進することを目的に制定されました。

本賞選考に当たっては、ロボット活用社会の実現への貢献の具体的成果と客観的な顕著さ、および社会的影響の大きさを総合的に評価し、特にロボット活用社会の実現において革新的業績と認められる、あるいは成り得る貢献をした団体、個人を選定します。

つきましては、下記をご参照のうえ、所定の推薦用紙にて、本年度のロボット活用社会貢献賞候補をご推薦ください。

記

推薦方法：他薦に限る

被推薦（受賞）資格者・団体：表彰年度において本会役員が含まれないこと

推薦資格者：日本ロボット学会正会員

推薦締切：2012年1月20日（金）

推薦方法：所定の推薦用紙に記入・捺印の上、下記宛郵送のこと

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-19-7 ブルービルディング 2階

一般社団法人日本ロボット学会 事務局 ロボット活用社会貢献賞係

日本ロボット学会ロボット活用社会貢献賞推薦用紙

提出日	年 月 日		
推薦者	氏名	印	
	所属・肩書		
	連絡先	住所： E-mail： Tel.	Fax.
候補者・団体	氏名・団体名		
	所属・肩書		
	連絡先	住所： E-mail： Tel.	Fax.
貢献の内容および 具体的成果			
貢献の顕著さ (客観評価)			
貢献の社会的影響 (客観評価)			